

# メディア教材の基本入力方法

## ● ピンインの基本入力方法

図1のように、言語バーの言語選択は「JP」（赤の枠が示すように、日本語のまま）で、直接入力（黄色の枠が「A」になる）です。

図1



図2のように、ピンインを入力する際には、声調を表す数字(1-4)を声調記号がつくアルファベットの後（ここでは“e”と“a”の後）に入力します。

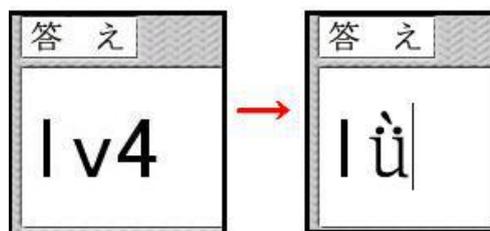
図2



## ● ピンイン“ü”の入力方法

図4のように、“ü”を入力する場合は、“v”を入力してください。

図4



## ● 「、」の入力方法

図5のように、頓号「、」（並列・列挙を表す記号）を入力する場合は、「Enter」の左隣の『む}」』（緑の枠）を押すと、「、」が入力されます。（「Enter」で変換する必要はありません。）

注 ※逗号「、」は日本語を入力する際と同じく「、」のキーで入力できます。

図5



## ● 簡体字中国語の基本入力方法

図6のように、言語バーの言語選択（青の枠）で「CH(中国語）」（紫の枠）を選択してください。

図6

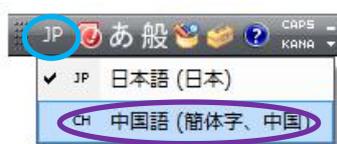


図7のように、ピンインを入力して「Space」を押します。一回で出したい簡体字が出てきた場合には、「Enter」を押せば、その簡体字に確定されます。

図7



図8のように、一回で出したい簡体字が出てこなかった場合には「←」(左矢印)を押すと別の選択肢が出てきます。「↑」で前の選択肢、「↓」で次の選択肢に移動することができるので、希望の選択肢にカーソルを合わせて「Enter」を押すか、選択肢の数字を入力すると(ここでは「4」)、その簡体字に変換されます。

図8

